

# 【テーマ設定型寄附】

—全15事業—

## 寄附者様がテーマを設定した趣旨

### 株式会社伊藤園

#### 奈良県内の自然・環境・文化財の保全・活用事業

奈良県は、世界に誇る多くの歴史文化遺産と、それらと一体をなす歴史的風土豊かな自然環境に恵まれた地であり、その美しい景観を守り育てていかなければなりません。そのために県民・事業者・行政の適切な役割分担と協働を行い、地域を活性化し、豊かな生活を引き継いでいく為に支援キャンペーンを行います。奈良県で本キャンペーンについて広く周知し、奈良県内の自然・環境・文化財の保全や活用、およびこの事業に伴う地域活性化への貢献についての認知・理解促進に取り組み、支援への賛同を募ります。



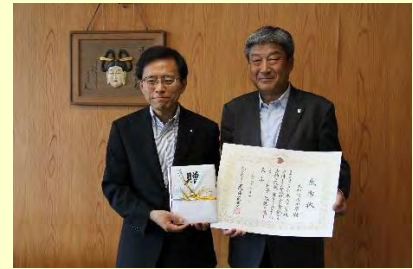
平成 29 年 3 月 13 日 寄附受領式

### 大和信用金庫

#### 大和川水系の水環境改善

奈良県民の憩いの場であるべき大和川は、全国1級河川ランキングワーストを脱却し、水質の改善が進んでいます。大和信用金庫は、地域社会とともに歩む地域の金融機関として、大和川のBOD(生物化学的酸素要求量)値の改善度合いに応じて金利を上乗せする「大和川定期預金」の取扱いなど、水質改善に向けた幅広い活動を行っています。

今回、大和川水系の水環境改善に取り組む団体の活動を支援することで、さらなる環境改善に役立てていただきたいと思います。



平成 29 年 7 月 12 日 寄附受領式

### イオングループ

#### 奈良の文化遺産やまちなみの保全

私たちイオングループは、「お客様を原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」という基本理念のもと、様々な環境・社会貢献活動に取り組んでいます。奈良県には、文化遺産をはじめ、近世の面影を残す歴史的なまちなみを有する地区も数多く存在します。

今回、「古都ならWAON」カードの利用金額の一部を寄附し、奈良の文化遺産やまちなみの保全活動、及びそれらを活用した地域の活性化活動を支援することで、「古都なら」の保全・活性化に役立てていただきたいと思います。



平成 29 年 6 月 1 日 寄附受領式

### 奈良県青少年育成ボランティア協会

#### 地域の子ども・若者の健全育成事業

地域のグループや団体等による、子どもや若者を対象とした活動や子どもと大人が一緒になって取り組む活動、あるいは青少年による地域貢献活動などで、地域で子どもを育てる力の向上や青少年の健全育成に繋がる取り組みに役立てていただきたいと思います。

※寄附受領日は平成 29 年 4 月 19 日。解散に伴う寄附のため、寄附受領式は実施せず。

西ノ京「歴史的風土特別保存地区」における  
 景観づくり事業

補助金額  
 300,000円

補助事業の背景と目的

現在管理を行っている奈良市西ノ京の「歴史的風土特別保存地区」の古都法買入地において、この地を訪れる来訪者が歴史的景観を感じ取れる施設を作ると共に、里地としての景観を維持・存続していくことを目的としました。

補助事業の実施内容

地域の歴史にゆかりのあるヤマトタチバナを列植している手前に竹柵で仕切った休憩施設を作り、その中に来訪者が休憩できるベンチを設置しました。また、列植したヤマトタチバナ越しに、地域の歴史を語る景観ともいえる垂仁天皇陵を望めるようにしました。

また、里地の景観を維持するために、枯死した果樹の補植を行いました。植樹に使用したのは地域にゆかりのあるヤマトタチバナの苗木4本と奈良県特産の御所柿苗木2本です。さらに果樹園景観維持のための灌水施設（雨水貯水タンク500ℓ 1基）を増設しました。



▲休憩施設

補助事業の成果と今後の活動に向けて

休憩施設については、活動地横を通る歴史の道を行き交う来訪者の利用があり、設置した看板に見入り、この地の歴史を感じ取っていただいています。植樹した果樹苗木はまだ小さいですが、今後の成長により景観の一部を形成してくれると考えています。灌水施設の増設により、昨年までのように水不足により花壇の草花が枯れてしまうことは少なくなると考えています。

今後の活動としては、今回設置した設備を有効に使い、景観の維持管理に努めてゆきたいと考えています。休憩施設については利用者の意見も取り入れながら、より良い形への更新も考えていきたいと思ひます。



◀活動の様子

**寄附者からの声**

寄附者：株式会社伊藤園  
 弊社の寄附の趣旨に賛同し、歴史にゆかりのあるヤマトタチバナを守り、歴史を語る景観を今後も維持管理できるよう期待いたします。

団体名	緑友会	【団体の設立経緯・目的】
所在地	奈良市三松2丁目13-8-309	県立高等技術専門校造園技術科修了生有志で、2008年3月より景観保全を目的に活動を行っています。
活動の様子 (景観保全活動)		【団体の主な活動の内容】 専門校で学んだ造園技術を用いて、県内公共施設において樹木の剪定を主とする景観保全活動を行っています。

## テーマ設定型

寄附者：大和信用金庫

テーマ：大和川水系の水環境改善活動

# 大和川源流域及び支流の整備事業

補助金額  
196,438 円

## 補助事業の背景と目的

豊かな森がきれいなおいしい水をつくると考えられるため、大和川源流域の川の周辺及び森林の整備を行いました。

## 補助事業の実施内容

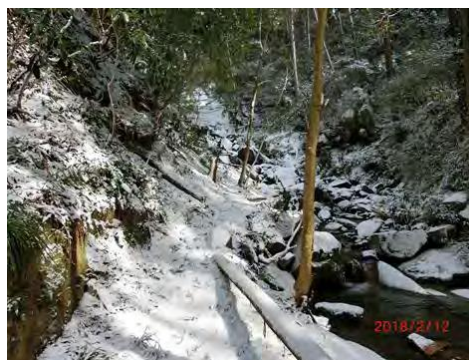
大和川源流域のごみ撤去、倒木除去をし、整備を行います。3年目の活動で、前回までに整備できなかった部分の整備を行い、さらにこの活動をこれからも行っていくことで、地域住民や県民が川を大切にするという気運の醸成を図ります。



▲遊歩道沿いの川の整備

## 補助事業の成果と今後の活動に向けて

当初予定していた11月は、台風災害で実施できず、2月の実施日も大雪のため予定していた作業ができずに終わりましたが、長滝へのハイキングコースを歩いてきた人たちが憩える広場を村人の協力で完成させることができました。今後ハイキングコースで長滝を訪れる人が川に親しんでもらえるところになることが期待されます。



▲長滝川に沿って整備された遊歩道

## 寄附者からの声

寄附者：大和信用金庫

「大和川源流域及び支流の整備事業」に弊金庫の寄附金をご活用いただきありがとうございます。今回の事業で整備されました広場が多くの方々に利用され、川に親しんでいただく機会が増えますことを期待いたします。

団体名

特定非営利活動法人奈良NPOセンター

所在地

奈良市角振新屋町8ASACOMビル3F

活動の様子  
(山の日・川の日の大和川源流域体験ツアー)



【団体の設立経緯・目的】

2001年の設立以来、奈良をもっと元気に、より良い社会にしていこうとする市民活動を応援しています。

【団体の主な活動の内容】

NPOの運営支援、NPOの普及・啓発  
行政・企業とNPOとの協働推進  
担い手育成  
ソーシャルビジネスの支援

寄附者：大和信用金庫  
 テーマ：大和川水系の水環境改善活動

春日山、滝坂の道、能登川の源流、高畑の流域の自然環境保全と啓蒙活動

補助金額  
 235,000円

### 補助事業の背景と目的

能登川は佐保川を経て大和川に注ぐ支流です。当会は、能登川源流の春日山原生林、樹木や花、植物、昆虫、生き物が豊かに生息する自然環境の保全活動を実施しています。今回の事業では、ホタルが成育する能登川の清流を未来に引き継ぐこと及び能登川の流域住民の皆様へ、大和川水系水環境保全の啓蒙活動を行うことを目的としました。

### 補助事業の実施内容

自然環境保全として、能登川の水質測定を行い、現状を把握するとともに水質改善のためにカキ殻を設置し、あわせて清掃活動も行いました。

啓蒙活動として、能登川源流の自然啓蒙書「春日山のヒミツ」及び能登川ホタル生息啓蒙書「ホタルの能登川」を県内の小中学校へ発行・配布し、図書館に設置することで、生徒はもちろん保護者の方にも読んでいただくことができました。



▲活動アルバム

### 補助事業の成果と今後の活動に向けて

能登川は上流から下流にかけて、水質に住宅排水の影響が見られます。全ての流域にサワガニの生息、ホタルの飛翔もあり、カキ殻による浄化および清掃など継続的な水環境保全が必要です。自然環境保全の啓蒙活動は流域住民の皆様との協働活動が望まれるため、このノウハウを生かして広大な平城宮跡歴史公園水路の再生に緑のボランティアと協働で取り組んでいきます。



▲カキ殻の設置

## 寄附者からの声

寄附者：大和信用金庫

「春日山、滝坂の道、能登川の源流、高畑の流域の自然環境保全と啓蒙活動」に弊金庫の寄附金をご活用いただきありがとうございました。より多くの方に自然環境保全に取り組んでいただけますよう期待いたします。

団体名

高畑自然教室

所在地

奈良市高畑町 1 3 4 9

活動の様子  
 (冊子配布の様子)



【団体の設立経緯・目的】

春日山原生林を源流とする能登川はホタルが生息し、私達は、このような高畑の自然環境保全や親子活動を行っています。

【団体の主な活動の内容】

1. ホタルプロジェクト
2. 里山プロジェクト
3. 春日山花散歩プロジェクト
4. 親子活動プロジェクト

## テーマ設定型

寄附者：大和信用金庫

テーマ：大和川水系の水環境改善活動

### 大和川水系（佐保川右岸羅城門跡）の河川敷・堤防掃除

補助金額  
300,000円

#### 補助事業の背景と目的

羅城門橋下流側の右岸土手には、奈良の都の羅城門がありました。この場所から真北を見れば、平城宮跡に復原した朱雀門と大極殿の屋根が重なって見えることから、この場所には観光客が訪れるので、景観保全のために佐保川右岸土手及びその周辺の清掃活動を行いました。

#### 補助事業の実施内容

大和川水系の清掃活動は毎年実施しており、作業参加者の一体化や、継続参加などのため重要と考え、作業服を貸与し、活動に一体感を持たせるとともに活動のPRに繋がりました。また、会員増加を図るために、活動のパンフレット「葉」を製作し活動への参加の呼びかけをしやすい体制を作りました。

羅城門跡付近の清掃活動に、地元観音寺町の自治会にも参加してもらいました。清掃活動の合間に10～15分の休憩を設け、奈良の都の話を行ってきました。清掃活動は今回で15回目になり継続して実施しており、奈良の都の話は10回目になります。



▲清掃活動の様子

#### 補助事業の成果と今後の活動に向けて

大和川水系の清掃活動は、会創設当時から継続して実施してきました。今回は環境問題の講演会を実施することができ、皆様に環境問題の理解を図りました。

清掃活動に参加協力いただいた皆さんに、住んでいる土地に誇りを持って頂き、同じ作業服で作業をする喜びを味わっていただきました。

清掃活動は3月18日で、その6日後の3月24日は、平城宮跡朱雀門前の「平城宮跡歴史公園」がオープンし、羅城門跡から朱雀門跡までを歩く催しがありました。佐保川堤防にかつてあった羅城門跡に参加者が集まり、きれいに掃除した後の堤防の上で、羅城門跡から4km北の朱雀門と大極殿の屋根の重なりを見て感激していただきました。

会員の年齢が高くなり、毎年会員の減少が続いていますが、会員募集用「葉」を作ったところ、会の活動が良く分かるようになり、新規に5名の参加を得ることができました。

### 寄附者からの声

寄附者：大和信用金庫

「大和川水系（佐保川右岸羅城門跡）の河川敷・堤防掃除」に弊金庫の寄附金をご活用いただきありがとうございました。継続的な取り組みにより活動がますます発展されますことを期待いたします。

団体名

やまと郡山環境を良くする市民の会

【団体の設立経緯・目的】

所在地

大和郡山市小泉町645-88

市の環境基本計画作成参加者が中心になり、環境が良くなったと言われる街づくりの会を平成14年に創立。

活動の様子  
(古道「七曲道」の整備)



【団体の主な活動の内容】

地球温暖化防止啓蒙活動、緑豊かな街・富雄川河川敷花壇づくり、清掃活動、文化を守り後世に伝える活動

寄附者：イオングループ  
 テーマ：奈良の文化遺産やまちなみの保全事業

## 椿井史跡周辺のナラ枯れや倒木駆除事業

補助金額  
400,000円

### 補助事業の背景と目的

椿井城の出城跡を整備し桜を植樹していましたが、雑木を伐採して入った奥地はナラ枯れの巨樹や倒木が道を塞ぎ、腐った木の根元に猛毒キノコが生えるなど危険な状態でした。これを伐倒駆除することでナラ枯れの被害を止め、毒キノコの発生を防ぎ、整備した跡地に桜を植樹することによる椿井史跡群の環境の保全と周知を目的としました。

### 補助事業の実施内容

出城跡地のナラ枯れの巨樹や枯れ木を伐倒し寸断して山から降ろし、さらに寸断し粉砕機にかけ木材チップにして桜苑に撒きました。チップは天然の防草シートになり、時がたてば桜の肥料にもなります。重機で根ごと引き抜いた枯れ木の跡に新たな土を入れて整地し、桜の苗木を植えました。



▲伐採した朽ち木

### 補助事業の成果と今後の活動に向けて

昨年から2年に渡って荒れ地に重機を入れ、桜の植樹と出城跡の史跡公園化を推し進めてきました。見学者が増えることで史跡の現状と公園化を訴えることができ、新たに「こども桜守」も創設して桜苑の管理を任せました。同時に子ども会を復活し一緒に管理整備を続けることになりました。今後は水源池を改修して椿井史跡公園にする予定です。



▲活動の様子

## 寄附者からの声

寄附者：イオングループ

椿井史跡群の環境保全と周知の為の、出城跡地の整備と植樹に「古都ならWAON」カード寄附金を活用いただきありがとうございます。水源も含めて椿井史跡公園が完成することを期待いたします。

団体名 特定非営利活動法人うぶすな企画

所在地 生駒郡平群町椿井1360番地

活動の様子  
(朽ち木の伐採と桜の植樹)



【団体の設立経緯・目的】

文化の発展や地域おこしをするためにイベントを企画・開催します。また他の文化活動を支援します。

【団体の主な活動の内容】

平群町の中世遺跡の保護と周知のため椿井城出城跡周辺を伐採整備の後、桜を植樹して史跡公園を造っています。

## テーマ設定型

寄附者：イオングループ

テーマ：奈良の文化遺産やまちなみの保全事業

# 「奈良まほろばかるた」の製作

補助金額  
400,000円

## 補助事業の背景と目的

次の世代を担う若い方々にも奈良の歴史・文化に興味を持っていただき、私たちの後に続いていただきたいとの思いから、次世代の育成に寄与することを目的として、奈良の歴史・文化や神社・寺院・人物などを読み込んだ「奈良まほろばかるた」の検討を進めてきました。

## 補助事業の実施内容

かるたの完成に向けて、12人のメンバーで読札の確定作業や読札裏面に記載の解説文の作成作業を続けるとともに、絵札については橿原市在住の絵本作家中島豊氏に依頼し、どちらも29年9月に完成しました。

引き続き、印刷に向けた作業を行い、30年1月にかかるたが完成しました。1月17日（水）に県庁記者クラブで完成記者発表、同時に小・中学校、子ども会などに無償配布の旨を告知し配布を行いました。



▲カルタ大会

## 補助事業の成果と今後の活動に向けて

1月28日（日）に、奈良ロータリークラブ子どもソムリエのメンバーと春日大社でかるた大会を開催し、3月27日（火）はイオンモール大和郡山でかるた大会を開催しました。また3月下旬には無償配布分のかるたを91先に243セット発送しました。

更なる浸透に向け「奈良まほろばかるた」を活用したかるた大会の開催を目指し活動中です。



▲奈良まほろばかるた

## 寄附者からの声

寄附者：イオングループ

「奈良まほろばかるた」の完成おめでとうございます。「古都ならWAON」カードの寄附金を活用いただきありがとうございます。県民のみなさんに、広く浸透することを、期待いたします。

団体名 特定非営利活動法人奈良まほろばソムリエの会

所在地 奈良市法華寺町254-1 奈良ロイヤルホテル内

活動の様子  
(総会)



### 【団体の設立経緯・目的】

奈良検定取得者を中心とする団体で、奈良の歴史、文化、観光の振興に寄与することを目的としています。

### 【団体の主な活動の内容】

会員数は県内外の約390人。奈良の歴史、文化の愛好者団体としてガイド活動、様々な講座・講演会の開催、文化財保存活動などを行っています。



いにしへの「山の辺の道（北コース）」沿いの  
 樹木の健全度調査

補助金額  
 400,000円

補助事業の背景と目的

大和最古の道「山の辺の道」は、三輪山の西南麓から奈良山丘陵に到る古代道路です。天理市の石上神宮を境とした「山の辺の道（北コース）」沿いの樹木の健全度、元気さを調査し、必要な対応策を提案することを目的とした調査を行いました。

補助事業の実施内容

古道、道沿いにある神社、寺院あるいは路傍から視認できる巨樹・古木の現況を確かめ、生育環境などの自然的側面に着目して、現状からより健全な状態で次世代に引き継ぎ、「北コース」のハイキングコースが自然的な景観を成立させ、訪れるハイカーを増員しようとする方策の一助になれるように留意しました。



▲竹林古道の枯竹


補助事業の成果と今後の活動に向けて

現地調査において確認した「北コース」の現状を、報告書に記載しました。周辺環境の変化や既存樹木の老齢化、および放置された倒木・倒竹が多く認められました。ハイカーへの安全確保と長期の維持管理に留意し、里山林・竹林が放置された場所なども整備を行なうことで、美しい景観の形成の推進となります。市町村および地域住民、活動するNPOなどとの協働・連携をおこない、また維持管理担当者が「健全度調査報告書」に添付した樹木点検票などを活用して、景観を阻害する要素を認識し、適正な対応策を図ることが重要です。「北コース」の古道のもつ自然景観を感じ、再度訪れたいと思うハイカーが増加するよう、管理担当者が「樹木点検・診断票（案）」の手法を用いて問題点を把握し、現場に即した点検票の改善および対応策を講じるための維持管理向上の一助となれることを期待します。

寄附者からの声

寄附者：イオングループ

『山の辺の道（北コース）』の自然な景観を維持できる対応策の提案に「古都ならWAON」カードの寄附金を活用いただきありがとうございます。「北コース」の環境管理が実施されることを願っています。

団体名	樹木環境研究会議	【団体の設立経緯・目的】
所在地	奈良市平松3-20-14（藤原気付）	樹木医の知識と技術を活用して、県内の巨樹・名木等を含め、広く環境保全に寄与する事を目的とします。
活動の様子 （啓発活動）		【団体の主な活動の内容】
		樹木の診断治療、森林等の保全、樹木文化の継承と普及啓発に関する活動等を地域住民と連携し行っています。

## テーマ設定型

寄附者：イオングループ

テーマ：奈良の文化遺産やまちなみの保全事業

住民の意識を高め、街並み保全につながる市民講座

補助金額  
300,000円

### 補助事業の背景と目的

宇陀松山は、2006年に文化庁から重要伝統的建造物群保存地区の指定を受けましたが、街並み保存に対する住民の方々の理解と協力なしでは、貴重な文化財が消滅してしまいます。この危機から、街並みを守るために補助事業の申請をしました。

### 補助事業の実施内容

全7回の市民講座を開催し、保全の心を育てる花づくりをしました。



▲栽培した花牡丹

### 補助事業の成果と今後の活動に向けて

市民講座参加者の文化財に対する意識が変わりました。花の栽培と配置により、自治会の皆さんの意識が変わりました。宇陀松山の重要伝統的建造物群保存地区の保全についてのシンポジウムを開催することにより、行政と市民の間にパイプが出来ました。



▲シンポジウム

## 寄附者からの声

寄附者：イオングループ

宇陀松山の重要伝統的建造物群の保全に「古都ならWAON」カードの寄附金を活用いただきありがとうございます。花を通じて行政と市民の方とのパイプができたこと喜ばしく思います。

団体名

えびすにっこり会

所在地

宇陀市大宇陀下本2175

活動の様子  
(現地説明)



【団体の設立経緯・目的】

「宇陀松山初えびす」を支援するために発足しましたが、まちづくりに協力するようになってきています。

【団体の主な活動の内容】

初えびす前日イベント・当日イベント、はならあとのイベント参加、町並み保全につながる市民講座やシンポジウムの開催

寄附者：イオングループ  
 テーマ：奈良の文化遺産やまちなみの保全事業

伝える・支える・広げる  
 「幕末の名工 丹波佐吉とその石造物」事業

補助金額  
 400,000円

### 補助事業の背景と目的

幕末の名工、丹波佐吉は県内をはじめ近畿一円から香川県小豆島まで、各地に多くの優れた石造物を残しています。それらを通して、佐吉の業績を判りやすく伝えると共に、宇陀市菟田野にある平井大師山石仏群を調査し、報告書にまとめて宇陀から情報を発信することで、佐吉の縁の地をつなぐことを目的としました。

### 補助事業の実施内容

佐吉の業績を楽しく、判りやすく伝える新作講演の会と講演会を宇陀市菟田野の「奈良カエデの郷ひらら」で開催し、80人が参加しました。また、講演会にあわせて、近鉄榛原駅から平井大師山～宇太水分神社へのノルディックウォーク体験会を実施し、県外を含め10人が秋の宇陀路を楽しむとともに、平井大師山で地域の方々からヒアリングを行い、調査報告書を50部作成し、研究者や佐吉に縁のある関係者に配付しました。



▲講演会

### 補助事業の成果と今後の活動に向けて

講演と講談の会では、地元の方々を中心に地域の貴重な文化資産について理解を深めました。ノルディックウォーク体験会では、大師山で地元の方々以案内とふるまいを行い、来訪者とのふれあいを深めました。大師山石仏群の調査は、石仏の寄進者からその成り立ちをひも解くという、新しい視点が高く評価されました。

今回の取り組みを通して知り合った各地の研究者や愛好家と情報を共有し、さらに佐吉石造物に対する理解を深めたいと考えています。また、各地に調査範囲を広げ、風化の危機にある佐吉石造物の保存に向けた取り組みにつなげていければと考えています。



◀活動の様子

## 寄附者からの声

寄附者：イオングループ

丹波佐吉の業績を広くわかりやすく伝える事業に「古都ならWAON」カードの寄附金を活用いただきありがとうございます。佐吉石造物への理解をさらに深めるために、活動を継続してください。

団体名 紀伊半島交流会議 伊勢街道分科会

所在地 宇陀市大宇陀上新1925番地

活動の様子  
 (ノルディックウォーク体験会)



### 【団体の設立経緯・目的】

伊勢街道沿いの歴史や文化にふれ、地域との交流を深めて、街道ネットワークを構築することを目的としています。

### 【団体の主な活動の内容】

風景街道「伊勢街道」連絡協議会において中心的な役割を担い、ウォーキングや講演会の開催、マップ作成等に取り組んでいます。

# 「椿井こども桜守」創設事業

補助金額  
100,000円

## 補助事業の背景と目的

史跡公園として昨年造園した椿井桜苑を子どもたちに開放し、マイ桜の桜オーナーとして「子ども桜守」を作り、草刈など社会奉仕をしながら自然体験や環境保護を学び、地元長寿会の協力で里山の知識や地域史などを遊びの中で傳承することを目的としました。

## 補助事業の実施内容

桜苑で草刈やハーブの世話など野外活動に親しみながら、地元高齢者を講師として里山の珍しい山野草の確認と野生植物の保護や毒性生物(毒キノコ・毒蛇など)の対処法を学びました。椿井城ハイキングでは、地元の戦国武将「嶋左近」たちが生きた同じ大地に立って、椿井の地域史を学ぶことで自尊精神を育みました。



▲活動の様子

## 補助事業の成果と今後の活動に向けて

「こども桜守」は定期的集まり、大人桜守と一緒に奉仕活動を行うので、休会中だった子ども会も復活し一緒に桜守活動をするようになりました。また桜守は年齢差のある子どもたちと長寿会有志の交流の場になり、こども桜守と復活したばかりの子ども会との初めての共同作業としてみんなで手作りの休憩所を建てました。この経験をもとに今年の冬にはこども果樹園を作る予定です。



▲野外教室

## ひとこと

### 青少年・社会活動推進課

世代間の交流と、地域を大切にしたいという思いの醸成という観点から、大変意義のある事業をされたと存じます。子ども会が長寿会との交流の中で復活したことは、今後、地域の活性化のモデルの一つとなるのではという展望を持ちました。

団体名 特定非営利活動法人うぶすな企画

所在地 生駒郡平群町椿井 1360

活動の様子  
(東屋を建てる様子)



### 【団体の設立経緯・目的】

文化の発展や地域おこしをするためにイベントを企画・開催します。また他の文化活動を支援します。

### 【団体の主な活動の内容】

平群町の中世遺跡の保護と周知のため椿井城出城跡周辺を伐採整備の後、桜を植樹して史跡公園を造っています。

地域の子供たちの“実の場”づくり  
 (アクティブ・ラーニング)

補助金額  
 100,000 円

補助事業の背景と目的

アクティブ・ラーニングの手法が学校で取り入れられますが、本当にこの教育環境を整えなければならないのは、家庭教育であり、社会教育です。田舎の伝統的行事が少子高齢化で賑わいをなくしていますが、ここに子どもたちが参加することで、地域は賑わいを取り戻し、子どもたちは学びの機会を得ることが出来ます。

補助事業の実施内容

説明会を開き、参加者を募集しました。夏のイベントにはお手伝いとして参加し、実の場を体験するとともに、金銭教育を受けてから、出店計画を立てました。露天商を親子で出店し、福娘の体験もしました。



▲寺子屋学習風景

補助事業の成果と今後の活動に向けて

学校教育では到底経験できない、自由で活動的かつ魅力的な実の場で、子どもたちは体験的学習を積み上げます。自分で会社を立ち上げ、色々な課題を乗り越えていくことにより、国際社会でも臆することなく積極的に自己主張ができ、協調性のある豊かな人材が育成できると思います。



▲活動の様子

ひとこと

青少年・社会活動推進課

机上での金銭教育のみならず、実際に地域行事の場で出店したことは、子どもたちにとって有意義な「アクティブ・ラーニング」の機会になったと存じます。今後も、地域の子どもたちに対する学びの提供者として、活動に取り組んでください。

団体名	UDA 寺子屋	【団体の設立経緯・目的】
所在地	宇陀市大宇陀下本 2 1 7 5	最初は、家庭学習の方法を身に着けることが目的でしたが、アクティブ・ラーニングを活動に取り入れました。
活動の様子		【団体の主な活動の内容】
		親子寺子屋を開催しました。地域の行事に露天商やチビッ子福娘で参加しました。

## テーマ設定型

寄附者：奈良県青少年育成ボランティア協会  
テーマ：地域子ども・若者の健全育成事業

外国語ルーツの子どもたちへの自然体験活動支援事業

補助金額  
100,000円

### 補助事業の背景と目的

多文化共生社会になりつつある奈良県ですが、様々な課題が存在します。大人だけでなく、外国語ルーツの子どもたちの課題は水面下で深刻です。そのような中での課題は、様々な違いからくる差別・アイデンティティの喪失・日常言語・学習言語の習得の困難・低学力・貧困・日本社会への不適応・社会的疎外や孤立があげられます。

これらを踏まえ、奈良県に住む外国語ルーツの子どもたちが、「言葉の壁や異文化における学校生活・仲間づくり」などの課題を乗り越えて、将来の夢や希望が実現できるようサポートすることを目的としました。

### 補助事業の実施内容

外国語ルーツの家族と子どもの安全を考慮したうえで大型バスをチャーターし、訪問先（奈良市防災センター、浄瑠璃寺(京都府)）でフィールドワークを実施しました。

「やさしい日本語」で行われた説明や翻訳で、奈良の歴史や史跡または防災の基礎知識を学びました。



▲日本語教室の様子

### 補助事業の成果と今後の活動に向けて

今回の事業では、日本人と外国語ルーツの大人と子どもが、奈良の史跡散策を行いました。また、自然災害体験活動を通して、交流や共通理解を深めるとともに、外国語ルーツの子どもたちが自分自身の将来に夢や希望を持ち、日本社会で生きていく力を育みました。教室とは異なる状況や体験、交流を行い、日本語の会話能力や仲間意識が高められました。

今後の活動では、次年度も外国語ルーツの子どもたちのネットワークを拡大し、「共に学び、共に生きる」という意識や自己肯定感を高めます。週2回の日本語教室と並行し、本事業のような体験活動を継続し、彼らが「日本で生きていく力」の醸成をサポートし、一方的に彼らをサポートするのではなく、彼らの自律を促し、双方向の交流（国際化）を行いたいです。

## ひとつこと

### 青少年・社会活動推進課

外国語ルーツの子どもたちが抱える課題解決に向け、直接的な働きかけに尽力されていることに感銘を受けます。支援を必要としている子どもたちにより手が届くよう、この事業を一つの契機としてネットワークを拡大されることを期待します。

団体名 ナラ・ファミリー&フレンド

所在地 奈良市四条大路5-2-41

活動の様子  
(放水体験)



### 【団体の設立経緯・目的】

22年前、貧困等の課題緩和のため、家族のように温かい雰囲気ボランティアグループを設立。

### 【団体の主な活動の内容】

外日本語教室、異文化交流イベントの実施、奈良の史跡散策事業、広報物作成、チューター研修、1年間のPDCAを実施

**「子どもと楽しむ クラシック音楽と夢のせかい」 事業**

補助金額  
100,000 円

**補助事業の背景と目的**

クラシック音楽の生演奏やお話を聴いたり、手遊び、身体を動かしたり、楽しいひと時を一緒に過ごすことで、親子と地域の人々のコミュニケーションを図る、地域に根ざした子育て支援を目的としました。

**補助事業の実施内容**

最初から最後まで、クラシック音楽、童謡、唱歌などの生演奏による音楽を活用し、お話、手遊び、ふれあいリズム体操を構成しました。



▲活動の様子

**補助事業の成果と今後の活動に向けて**

地域の人々が親子達と交流することで、地域に根ざした子育て支援、子ども達を健やかに育むことの出来る地域づくりの機会になりました。


今後は、ホールで映像を交えた音楽演奏を親子や地域の人々が一緒に楽しめるコミュニティの場として、子育て支援に繋がります。



▲子どもと楽しむクラシック

**ひとこと**

青少年・社会活動推進課  
 子どもと共に楽しめるクラシック・コンサートは、保護者や地域の人々にとっても優しく親しみやすいものになったのではないかと存じます。今後も、文化振興に子ども・地域の視点を取り入れた事業をぜひ企画してください。

団体名	特定非営利活動法人奈良芸能文化協会	【団体の設立経緯・目的】
所在地	奈良市西大寺東町2丁目4番1号	奈良の地域振興に寄与し、文化振興事業を発信することを目的の一つとしています。
活動の様子 (実行委員会)		【団体の主な活動の内容】
		1 奈良県の伝統・民俗芸能の調査研究、公開公演 2 文化振興、芸能活動支援 3 国際交流事業

## テーマ設定型

寄附者：奈良県青少年育成ボランティア協会  
テーマ：地域の子ども・若者の健全育成事業

奈良県無形民俗文化財「吐山太鼓踊り」後継者育成事業

補助金額  
100,000円

### 補助事業の背景と目的

地域遺産である吐山太鼓踊りは若年層が少なくなり継承が困難でもありますが、小、中、高校生が進んで参加してくれていることが保存、継承に繋がっています。

### 補助事業の実施内容

吐山太鼓踊りを発表、披露することで、広く伝統文化を知ってもらうことができるとともに、地域との交流も生まれ励みにもなることを期待し、地域のイベントで披露しました。



▲つげまつり

### 補助事業の成果と今後の活動に向けて

装束、衣装の補充もでき、「つげまつり」でのステージ発表で子どもと大人が合同参加し、大人たちとの交流を通じて地域に生かされ、生きているという自覚と誇りを持たせたと確信することができました。「民俗文化財の世代継承に向けたモデルケースとなっている」と新聞記事にもあるので今後も継承活動に励みたいと思います。



▲活動の様子

## ひとこと

### 青少年・社会活動推進課

地方共通の課題である「文化の継承」に取り組む一つの方策を、この事業によって示されたと存じます。今回太鼓踊りを学んだ子どもたちが成長し、いずれは後進に伝える側となるような息の長い事業を目指して、活動を継続してください。

団体名

吐山太鼓踊り保存会

所在地

奈良市都祁吐山町 下部神社内

活動の様子  
(太鼓踊り)



### 【団体の設立経緯・目的】

室町時代後期より伝承されてきた太鼓踊りの保存、継承を目的として吐山太鼓踊り保存会が設立された。

### 【団体の主な活動の内容】

年8～9回必ず練習をかさね、毎年異なった演目を取り入れ保存、発表を行い、次世代に繋げている。



寄附者：奈良県青少年育成ボランティア協会  
 テーマ：地域の子ども・若者の健全育成事業

平城山地区の環境・景観保全活動と  
 その活動を通じた自然体験

補助金額  
 100,000 円

補助事業の背景と目的

平城山地区の里山と竹林の保全活動を通じて発生した竹や間伐材を竹細工や椎茸菌の原木として再活用（資源化）すること及び教室やイベント開催を通じて、地域の子ども達・若者の食育を推進することを目的とします。

補助事業の実施内容

- (1) 里山と竹林の環境・景観保全活動（3回実施）
- (2) 竹細工のミニ教室の開催（参加者15名）
- (3) 椎茸原木作りイベントの開催（参加者32名）



▲活動の様子

補助事業の成果と今後の活動に向けて

今回の事業を通して地域の子ども達、更に外部のボランティア団体との交流を深めることができました。又竹林整備の作業手順等が精査でき今後の活動の基盤が出来ました。

竹林は成長が早く、放っておくと直ぐに荒廃するので、今後は竹林の景観を保つ為に、年間を通じた計画的整備活動を継続していきます。



▲田植えの様子

ひとこと

青少年・社会活動推進課

これまで法人として取り組まれてきた里山・竹林の保全活動に、地域の子どもたちを効果的に巻き込まれたと存じます。この事業が今後の活動の基盤となり、よりよい整備活動につながることを期待します。

団体名	特定非営利活動法人 共生学舎	【団体の設立経緯・目的】
所在地	奈良市法華寺町1576番地の3	(1) 農作業を通じて、子ども達の食育を推進する (2) 里山の景観の改善・保全を目的とする
活動の様子 (椎茸原木)		【団体の主な活動の内容】 (1) 米作り（田植、稲刈、脱穀）の行事等を開催 (2) 平城山地区の生活環境美化活動（24回/年）